

「岩手県保育者のための学びのらしんばん」

キャリア・ライフステージの目安	基礎ステージ		中堅ステージ		リーダーステージ	園長等	
	基礎力の形成期		実践力の向上・充実期		総合力の発現期	園経営能力の育成（総合力の発揮期）	
	新規採用	2～5年	6～10年	11年～	主任等		
目指す保育者像	○子どもへの愛情と保育に対する熱意をもち、試行錯誤しながら子どもと関わっている。 ○保育に関する基礎的な知識・技能を保育実践に生かそうとしている。	○保育に関する専門的な知識や基礎的な職務遂行能力を身に付けている。 ○保育者としての基礎を確立し、園組織の一員として見通しをもって行動する力を身に付けている。	○保育者としての使命感を自覚し、自らの実践を常に振り返りながら、職務遂行能力を向上させている。 ○園運営の中堅として、園全体を見渡す視野をもち教育活動を展開している。	○広い視野に立ち、保育実践をとおして研鑽を積極的に振り返りながら職務遂行能力をさらに高めている。 ○職務に関する専門知識や幅広い教養をより一層高め、園運営に積極的に参画している。	○リーダーとしての役割と責任を自覚し、同僚保育者の資質向上を支援しながら、園の教育目標の達成に向け、広い視野で関係者と連携し、園運営を補佐している。	○保育者・職員の能力を把握し、地域・関係者との連携・協働を図りながら、園を組織体として機能させ、園目標の達成に向け統括している。	
キャリア・ライフステージに応じた研修 (いわて幼児教育センター主催研修の一部)	幼稚園等初任者研修		保育者レベルアップ研修講座ステップ1 (2～5年目等対象)	保育者レベルアップ研修講座ステップ2 (6～10年目等)	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	幼児教育中核リーダー養成研修講座Ⅰ・Ⅱ	
保育者としての素養	<ul style="list-style-type: none"> ・自立的に学び探究する姿勢をもち、教育の情報化を含む時代や社会の変化、キャリア・ライフステージに応じて求められる資質を生産にわたって高めている。 ・保育者としての使命感や責任を自覚し、保育への情熱と誇りや高い倫理観をもっている。 ・教育的愛情 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対する深い愛情と人権意識をもち、一人ひとりの子どもと真剣に向き合っている。 ・豊かな人間性 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性をもち、社会人としての常識や幅広い教養を身に付けている。 ・コミュニケーション力 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な背景・価値観をもつ人々と対話を通して情報共有し、相互に考えを伝え深め合いながら、合意形成を図り、課題を解決している。 ・課題に立ち向かう力 <ul style="list-style-type: none"> ・心身共に健康で、様々な状況でも感情をコントロールしながら、忍耐力とチャレンジ精神をもって様々な課題に取り組んでいる。 ・省察力（メタ認知力） <ul style="list-style-type: none"> ・自分の保育について振り返り、自分の保育の傾向等について客観的に把握し、子どもの姿に合わせて改善しようとしている。 					<ul style="list-style-type: none"> ○保育者として高めてきた資質 ○保育者としての高い見識 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな経験に基づく、的確な判断力・リーダーシップを有している。 ・自ら学び、成長し続ける姿を示している。 	
実践力	子ども理解	<ul style="list-style-type: none"> ・他の保育者の子どもの見方を学ぼうとしている。 ・記録をとおして子ども理解に努めている。 ・乳幼児期の発達の特徴について基礎的知識を習得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の発達の特徴を理解し、子ども一人ひとりの発達の特徴に応じた援助をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の乳幼児を取り巻く環境を理解し、子ども一人ひとりに向き合い、そのらしさを捉えた柔軟な対応をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの発達の特徴に応じた援助について、他職員へ適切な指導・助言を行っている。 	組織としての園運営	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的責任を果たすために高い専門性と規範意識をもった職員集団を形成している。 ・評価を基に園運営の課題を自覚し、教育（保育）課程の実践をとおして、課題解決を図りながら園目標を具現化している。 ・保育教育に関する施策等について、情報収集し、職員に周知し、園運営に当たっている。
指導計画の作成と保育の展開・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に基づき作成された全体的な計画及び指導計画や指導の評価の意義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画、記録及び評価に基づき、子どもの主体的な活動の実現や小学校教育との接続に配慮して指導計画を構想、実施し、振り返っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園全体の実践の中心的な役割を果たしながら、子どもの実態を踏まえつつ資質・能力の育成を目指す年間指導計画を見直している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員との話し合いを活用しながら、年間指導計画の評価・改善をしている。 			
環境構成と援助	<ul style="list-style-type: none"> ・環境構成の工夫及び教材研究に努め、子どもの実態を踏まえながら子どもの主体的な活動が保障されるよう保育を展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を多面的に捉え、ともに、興味・関心を把握し、主体的・対話的で深い学びの実現を図るために保育を工夫・改善している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントの視点から、地域資源の活用を視野に入れた保育を工夫・改善している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の構成について他職員へ適切な指導・助言を行い、協働して子どもの発達を保障する園環境を整備している。 			
特別な配慮を必要とする子どもへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等している。 ・障がいに関する基礎的知識を習得している。 ・子どもの実態を捉え、支援に生かそうとする心構えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの実態について多面的に把握し、実態に応じて手立てを工夫して適切に指導・支援している。 ・地域の専門機関の役割を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもへの理解や関わり方について専門性を高め、子どもと保護者に対して適切に指導・支援をしている。 ・他職員の相談に乗ったり助言を行ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて関係機関と園の担当者をつなぎ、子どもと保護者を支援する園内の体制を構築している。 			
幼保小連携及び小学校教育との接続	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小接続の意義を理解し、小学校以降の教育を理解しながら、日々の保育を振り返っている。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をカリキュラムの整合性を図りながら保育に取り入れ実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小の学びのつながりを意識し、個別と集団等、協同性のバランスがとれたマネジメントを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・0～18歳の学びの連続性を見通した指導をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携の推進に向けて相互の理解と協力を求めている。 ・幼児と児童、職員間、保護者間の交流活動を企画し、実践している。 	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりに応じた資質向上やキャリア・ライフステージに関する助言、研修の受講奨励を行っている。 ・教職員のメンタルヘルスを含めた健康・安全・働き方へ配慮している。 	
園組織としての連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・園務分掌の意義を理解し、組織の一員として園務を遂行しようとする心構えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園務分掌の内容について理解し、他職員と連携しながら主体的に園務を遂行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園全体を意識し、関係機関との連携を視野的に参画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園全体の状況を踏まえ、関係機関との連携を視野に入れながら、適切に役割分担を行うとともに、園務分掌の改善を図っている。 ・園務分掌の遂行について、他職員へ適切な指導・助言を行っている。 			
危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・健康、安全、危機管理等の重要性を理解し、危機管理に必要な基礎的知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止の指針、危機管理マニュアルを基に、子どもが安心・安全に生活できる環境を整え、事故の未然防止に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告書や事故防止の指針を基に危機を予測し、子どもが安心・安全に生活できる環境を整え、事故の未然防止に努めている。 ・事故発生時には迅速に報告・相談し、適切な対応ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機を予測した未然防止の取組と危機の早期発見・早期対応をしている。 			
保護者との連携・子育ての支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を担っていることや家庭との連携の重要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職や他職員等の助言を生かし、家庭等に自園の教育方針を伝え、理解と協力を得られるようにしている。 ・就園児及び地域の未就園児の保護者との良好な関係を築き、相談しやすい雰囲気を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就園児及び地域の未就園児の保護者との信頼関係を築き、保護者の気持ちに寄り添い、子育ての喜びを共有し、具体的に必要な支援や助言をしている。 ・園における子育ての支援の調整役となり、保護者同士、職員同士をつなぐ役割をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者との信頼関係を築き、家庭との連携や保護者への支援体制を組織として整えるとともに、他職員に適切な指導・助言を行っている。 			
地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然・文化・歴史・産業などについて理解している。 ・地域との連携・協働の必要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した保育・教育活動に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携・協働した保育・教育活動のよさを生かし、実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育資源を活用し、地域と連携・協働した保育・教育活動の充実を図り、地域との信頼関係を深めている。 	保育者との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標等を家庭や地域にわかりやすく発信している。 ・地域に信頼とつながりの輪を創り、よりよい園運営に努めている。 	